



黒川 美克 議員

公共施設総合管理計画 の見直しと 推進状況について

問 公共施設総合管理計画について問う。

答 大山公民館は、現在、春日町町内会と保有形態の見直しについて協議を行っています。

協議がまとまるまでの間は、(仮称)大山会館として市による運営を継続し、今年度の下半期には、大山公民館の定期利用者に対して、施設の今後の方向性や高浜小学校地域交流施設の概要等について説明を行う予定です。

次に、高浜北部老人憩の家及び高浜中部老人憩の家並びに高浜老人ふれあいの家は、平成26年10月から各いきいきクラブの代表への説明を始め、定期的に意見交換を行っています。老人憩の家は、防災上の課題もあり廃止していきますが、利用者の皆さんの意向もお聞きし、丁寧に対応してまいります。

ものづくり工房あかおにどん及びIT工房くり

つくは、平成26年10月から、皆さんへの説明を始めました。どちらの施設も現在は、建物を借りて運営していますので、今年度末までに機能移転を完了する予定です。

中央児童センター及び中央児童クラブは、高浜小学校等整備事業の一環として機能を移転することを説明をしています。

体育センターは平成31年度中に定期利用者に対して、施設が平成32年度中に廃止を予定していることや、平成32年9月にオープンを予定している高浜小学校サブアリーナの概要等について、説明を行う予定です。

春日庵は、文化協会役員に対し、施設の今後の方向性について説明を行っています。

次に、高取小学校区の高取農業センターについては、利用申請の際に平成31年度から平成32年度までの間で解体する旨説明していますが、個人的利用者については、今後検討をします。

個々の施設の統廃合等につきましては、施設を所管する部局等が中心となって、丁寧な説明を行ってまいります。



神谷 直子 議員

ICT等を活用した 情報発信について

問 第6次総合計画後期計画が始まり、アクションプランの中で情報発信に関する取り組みが掲げられています。現状と課題は？

答 広報に加え、ホームページ、フェイスブック、メ

ールマガジン等の情報発信をしており、対面での対話も行っている。ホームページは使いにくく、フェイスブックは積極的な発信が必要。メルマガも利用者の差が大きく、活用されていないものもある。

問 外国人への情報発信は？

答 広報は一部ポルトガル語もあり、ホームページは英、中、韓、ポルトガル語の翻訳機能を追加している。外国人増加に伴い、さらに対応が必要であると考えている。

問 メールマガジンの連携は？

答 各部署で情報発信をしている。横の連携を図り、情報発信の一元化等を図っていきたい。

問 フェイスブックは、双方向のやり取りができる利便性がいかされていないと思うが？

答 今の現状で市民の方に浸透させ、更なる活用について対応、検討していきたい。

問 市民にフェイスブックを浸透させるのにも、仕掛けづくりが必要なのは？

答 市民の方に写真や動画を撮っていただき、市民記者制度の導入を考えている。

問 相談や情報提供などの積極的な発信という形ではないが、LINEやAIの対応する相談などの特性が有効で、導入しているところもある。今後、LINEやTwitterなどの導入予定は？

答 承知はしているが、業務量の増加をしないように各媒体を連携していくことが必要で、今後、検討していきたい。

問 今後、情報発信をどのように強化していくのか？

答 それぞれの特性とターゲットを分析し、どのような情報を表現して発信していくのがよいか明確にし、強化していく。膝を交えた対話を通じ、情報を拡散する場を創出するなど、情報発信を媒体ごとに考えていくのではなく、戦略的に、トータルで情報発信を検討していく。